

令和元年度特定保険医療材料価格調査（材料価格本調査）

平均乖離率：約 5.8%

注1) 令和元年5～9月取引分（ただしダイアライザー、フィルム、歯科材料、保険薬局調査分については令和元年9月取引分のみ）について、販売サイドから11月6日までに報告があったものの集計結果である。

注2) 平均乖離率とは、

$$\frac{(\text{材料価格} \times \text{販売数量}) \text{の総和} - (\text{実販売単価} \times \text{販売数量}) \text{の総和}}{(\text{材料価格} \times \text{販売数量}) \text{の総和}}$$

で計算される数値である。なお、材料価格は令和元年9月時点の材料価格である。

注3) 令和元年10月1日に、平成30年度材料価格調査（平均乖離率4.2%）を踏まえて消費税率引上げに伴う材料価格改定を実施している。

【令和元年度調査に関する公表事項】

①全体の平均乖離率：約5.8%

②分野別の乖離率（医科、歯科、調剤の別）及びその数量シェア

乖離率：医科材料	約6.2%
歯科材料	約-5.9%
調剤	約-9.1%
数量シェア：医科材料	約32.2%
歯科材料	約6.3%
調剤	約61.6%

③調査客体数・回収率

販売サイド調査：調査客体数	5,406客体（回収率	約69.8%）
購入サイド調査：調査客体数	3,248客体（回収率	約60.7%）